JAIM賛助会員向け 2025年度提供予定のサービスについて

2025年10月



2025年度提供予定のサービス一覧

分類	項目	開始時期(目途)	概要イメージ	
①共通基盤整備	■ 賛助会員向け相談窓口の設置・運営	2025年7月 (開始済み)	企業向け相談窓口・外国人材向け相談窓口の立ち上げ	
	■ JAIMポータルサイト機能強化	2025年7月 (開始済み)	JAIM HPの立ち上げ、賛助会員申請受付、各種資料公開、 多言語翻訳機能の追加等	
②情報提供、情報 交換・交流	■ メールマガジンの配信	2025年10月 (受付開始済み)	メルマガ会員の受付、情報提供	
	■ セミナーの開催(国内、海外)	2026年1月	申請書類の書き方、優良な受入れ事例の紹介等を行うセ ミナーを開催	
③技能評価試験対 策、日本語教育	■ 製造分野特定技能評価試験 学習用参考テキストの作成、展開	2025年11月	試験対策を見据えた教材等を作成、展開	
	■ 製造分野特定技能評価試験 学習用参考テキスト概説講座	2025年12月	学習用参考テキストをもとに 2号評価試験の受験予定者を対象とした概説講座	
	■ 特定技能外国人への日本語教育講座の実施	2025年11月	特定技能1号外国人向けにオンライン日本語教育講座	



2025年度 提供予定のサービス(1/4)

1 賛助会員向け相談窓口の設置・運営

2025.7~

【実施済】

■ 企業向け相談窓口の立ち上げ、移行手続案内対応

電話窓口対応件数 : 7月 3,531件、8月 800件、9月 2,491件メール窓口対応件数: 7月 770件、8月 89件、9月 172件

【今後予定】(2026年度以降含)

- 外国人材向け相談窓口の立ち上げ(日本語含む6言語程度(海外試験開催国の言語+ a))
- 外国人材向け苦情処理機能の追加(紛争解決スキームの検討)等

2 JAIM HP(ポータルサイト)機能強化

2025.7~

【実施済】

- JAIM HPの立ち上げ
- 賛助会員申請受付、各種資料公開
- 多言語翻訳機能の搭載(英語、ベトナム語、インドネシア語、ミャンマー語:海外試験開催国に対応)
- 外国人関連ビックデータ可視化ページ「データで見る特定技能外国人」公開
- 入会案内の解説動画の製作・公開
- FAQのweb検索システム化 等



2025年度 提供予定のサービス(2/4)

メールマガジンの配信(メルマガ会員の受付、情報提供)

2025.10~

- 非会員でも登録が可能なメルマガ会員の受付を2025年9月から開始。翌10月には、第一弾のメルマガを配信予定。
- 主に賛助会員や賛助会員を支援する登録支援機関等を念頭に、事業活動の参考となるような情報をメールマガジンにて配信を予定。想定しているコンテンツや配信スケジュールは以下のとおり。

頻度	内容	備考
定期配信 (月1回)	送出し国の基礎情報、現地情報、文化の紹介、受入れ企業事例紹介 等	• JAIM HPに新規ページを作成
随時配信	会員の参考となる情報のうち、タイムリーに提供すべき内容 (概要資料や受入れ事例集の更新、FAQの更新、特定技能在留外国人数や外国人 雇用実態調査など参考になる公表情報等)	• 内容に応じてJAIM HP「新着情報」にも掲載

セミナーの開催(国内、海外)

2025.11~予定

【国内向け】(2026年1月以降)

- 特定技能外国人を雇用している、または雇用意思のある国内企業担当者を対象にオンラインセミナーを実施。
- 想定しているコンテンツは以下のとおり(以下の中から、いくつかを組み合わせて実施を想定)。
 - 法令等の改正に伴う制度説明
 - 特定技能試験に関わる案内(試験概要、申込みや合格後の手続)
 - 各種申請書・報告書類の書き方の説明
 - 好事例事業者の紹介

【海外向け】(2025年11月26日、27日オンライン開催を予定)

- 日本で働くことを希望する外国人材、または送出し機関や日本語学校等の海外現地の人材送出しに関わる機関を対象にオンラインセミナーを実施。想定しているコンテンツは以下のとおり。
 - 特定技能制度の概要説明
 - 日本で働く特定技能人材について事例紹介動画の放映
 - 特定技能試験に関わる案内(試験概要、申込みや合格後の手続、各国言語での案内)



2025年度 提供予定のサービス(3/4)

製造分野特定技能評価試験学習用参考テキストの作成、展開

2025.11~予定

- 1号評価試験及び2号評価試験の受験に向けた学習の参考となるテキストを試験区分ごとに作成し展開する。
 - 安全衛生や品質管理といった基礎的な内容から各技能(機械金属加工区分における鋳造や鍛造など)に関する専門的な内容まで幅広く学ぶことができ、就労の現場でも役立つものとする。
 - 対象試験区分:機械金属加工区分、電気電子機器組立て区分、金属表面処理区分 (来年度以降、ニーズも踏まえながら拡大を検討する。)
 - 作成言語(予定):日本語、ベトナム語、インドネシア語
- 公平性の観点から、試験問題を作成する有識者委員会は基本的に関与しない。
- 現在は、1号評価試験はサンプル問題、2号評価試験は学習用参考資料をポータルサイトで公開中。

製造分野特定技能評価試験学習用参考テキスト概説講座

2025.12~予定

- 特定技能2号評価試験の受験予定者向けに学習用参考テキストを用いた概説講座をオンラインで実施する。
 - 試験概要を説明するとともに、上記5.のテキストを用いながら問題例の解説などを行うことで、試験のイメージを 持っていただき、受験に向けた準備の足掛かりとしていただく。
 - 試験区分ごとに実施し、1回完結型で4時間程度を想定。
 - 対象試験区分:機械金属加工区分、電気電子機器組立て区分、金属表面処理区分(2号評価試験の実施試験区分)
 - 実施言語:日本語のほかベトナム語、インドネシア語、ミャンマー語、英語(試験実施国に対応)
- 受講対象者は、賛助会員となっている事業所に雇用されている方とする方針。
- 公平性の観点から、試験問題を作成する有識者委員会は基本的に関与しない。



2025年度 提供予定のサービス(4/4)

7 特定技能外国人への日本語教育講座

2025.12~予定

- 特定技能1号外国人向けに、将来的に特定技能2号移行時に求められることが見込まれるN3 (B1) 相当の試験に合格し、管理者として高いコミュニケーション能力を身に付けることを目的としたオンライン日本語教育講座を実施する。
- 今年度は定員制のシリーズ講座をパイロット実施し、その実施状況等を踏まえ、来年度以降の本格実施につなげていく。
 - 対象人数:1クラス・30名
 - 実施回数:各回1.5時間(就業時間外を想定)、週2回/計24回
 - 実施時期:2025年12月以降開始・3ヶ月間を予定
- 受講対象者は、区分や母語を問わずに、賛助会員となっている事業所に雇用されている特定技能1号外国人とする方針。
- 定員30名に対し応募多数の場合、一企業当たりの人数制限を設け、2号への移行時期が近い方を優先する想定。

